

大豆栽培技術情報

令和5年 第2号

令和5年9月20日発行
宮城県登米農業改良普及センター
TEL: 0220-22-6127



<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmsgsin-n/>

1 管内の生育概況

一成熟期は平年並み

表1 生育調査結果（9月1日現在）

		播種期	主茎長 (cm)	主茎節数 (節/本)	分枝数 (本/本)	栽植密度 (本/m ²)	開花期
タチナガハ (登米町)	本年	6/20	64.6	15.0	4.0	12.3	8月6日
	前年値	6/22	59.3	14.2	2.8	14.1	8月2日
	平年値	6/14	72.0	14.6	3.5	14.4	8月5日
ミヤギシロメ (中田町)	本年	6/22	83.8	16.2	3.0	13.0	8月10日
	前年値	6/23	38.3	13.8	2.0	9.2	8月12日
	平年値	6/15	59.2	15.0	3.6	12.0	8月12日

※平年値は、過去5か年の平均値

タチナガハ、ミヤギシロメの落葉期は10月下旬頃と見られ、完全落葉から15~25日後が成熟期で、成熟期から5~10日後がコンバイン刈取開始時期の目安となります。
刈取時期の最終的な判断は、茎水分を見て行うことになります。

2 これからの栽培管理

・・・**適期収穫で品質良く仕上げましょう!**

(1) 収穫準備

* 茎水分が高い、または果実がついている雑草

(例: **タネ類、アメリカセンダングサ、イヌホオズキ**)

* 青立ちしている大豆株

収獲前に抜き取りしましょう!



写真 左: イヌホオズキ 右: 青立ち株

(2) 適期収穫

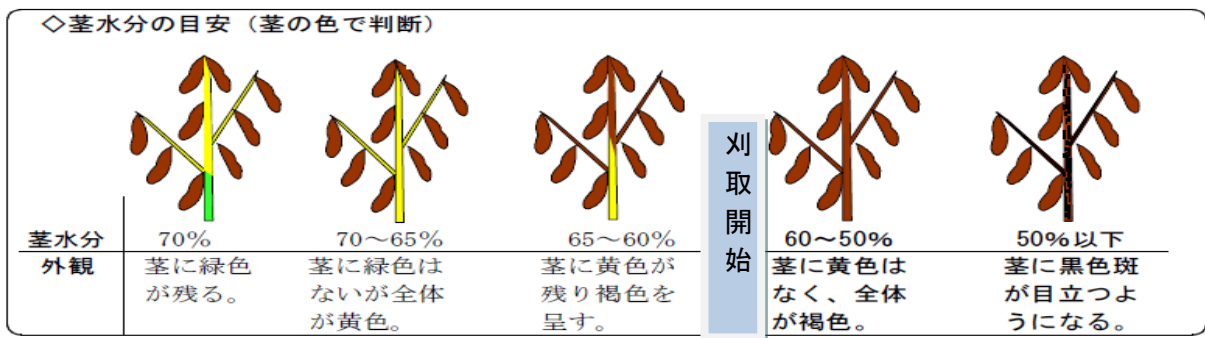
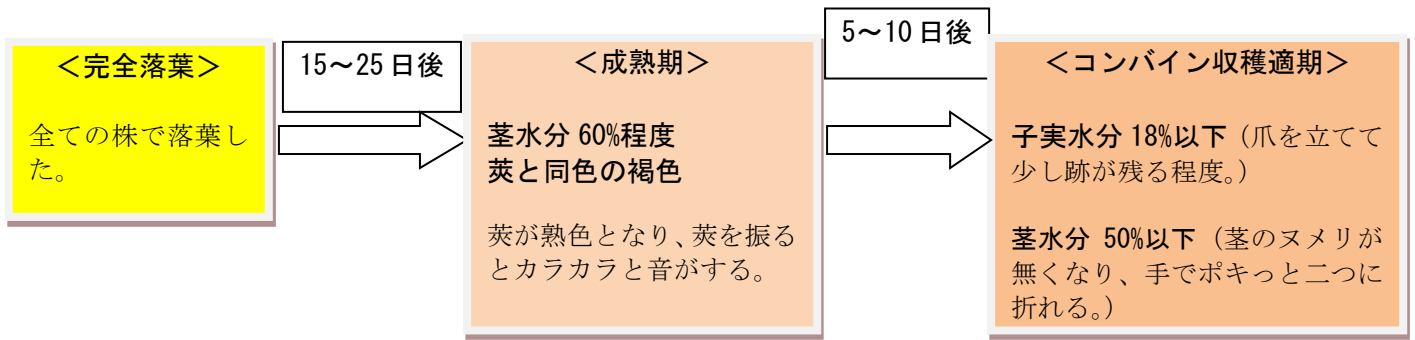


表-2 大豆子実水分と目安 (爪でキズを付けた場合、平12)

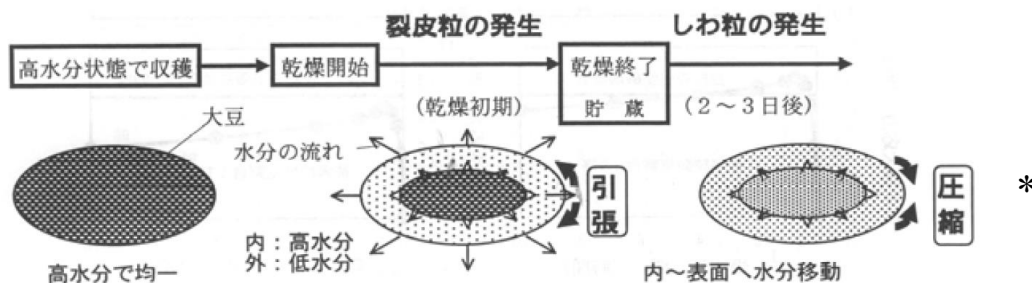
子実水分%	横 (腹側)	縦 (へそ側)	噛むと	その他
23.0	キズは深い		割れない	しっとり、弾力有り
20.5	キズは深い	切れる	しっとりくずれる	弾力有り
19.0	少し (1mm)	やや深い	カスッと割れる	しっとりしている
16.5	少し	やや深い	カスッと割れる	比較的硬い
15.5	わずか	少し (1mm)	カスッと割れる	
14.5	極微	少し	カリッと割れる	水気ない
12.0	付かない	少	パリッと割れる	
11.0	付かない	微	皮がとれ割れる	
10.0	付かない	付かない	割れない	

* 収穫当日の注意点 *

- ・前日及び当日に降雨がない日を選ぶ。
- ・収穫は露のある時間帯を避け、10~16時ごろに収穫する。
- ・土を巻き込まないように、刈高は10cm程度に調整する。
- ・アレチウリ、オオオナモミ、帰化アサガオ類等難防除雑草の発生ほ場、ダイズシストセンチュウ、土壌伝染性病害の発生ほ場は、伝播のリスクを避けるため最後に刈り取ることとし、ほ場移動時には作業機の洗浄を行って、汚染土壌を除去する。

(3) 乾燥

- 大豆は粒が大きく、米のように殻がついていないため、子実表面は水分が下がりやすく、子実中心部から表面には水分が移動しにくい特徴があります。
そのため、急激な乾燥はしわ粒、裂皮粒の発生を招きます。



* 乾燥時の注意点

- 子実水分 18%以上の場合は、常温で通風し水分 18%以下になってから温度をかける。
- 子実水分 18%以下の場合の乾燥温度は 30 度以下とする。
- 乾燥後の子実水分は 13%程度に仕上げる。
- 循環式乾燥機の場合、過度のローテーションは剥皮粒、割れ粒を増加させるので、1 日 1 回 ゆっくり確実に行うようにしましょう。

令和 5 年 秋の農作業安全確認運動展開中！！

令和 5 年 9 月 1 日～令和 5 年 11 月 30 日

令和 5 年 農作業安全確認運動スローガン

「徹底しよう！農業機械の転落・転倒対策」